

川を守る、水を守る

賀来小学校4年 あべ ゆうか

この前、学校の通学路のと中にある川で、
工事が行われました。その川は、雨がある時



に、
わたしは、その工事を見た時、何の工事なの
か分かりませんでした。だって、土がいどろ
されていたので、最初はただ川をにごらせ、
だめにしてしまうのかなと思、て、悲しい気
持ちになりました。けれども、日に日に川は
かかやきを取りもどし、結果、前よりみちが
えるように水がきれいになりました。今では
川にはかもや鳥が、周りには虫やとんぼがや
。てくるいこいの場となりました。わたしは、

この文章を書くまで、どうして工事をしたの
かがわかりませんでした。実は、今より数は
少なからず、たけれどかもしました。そのか
を洗い出してまで工事はしなくてよか、たの
ではないかというかんじです。と分からずに
いました。でも、お母さんが教えてくれました
た。わたしは、その話を聞いた時、と、ても
うれしか、たです。その工事は、川をきれい
にするための工事だ、たんです。その川は、
雨がふると土が流れ、水がにごるのです。そ
うすると、かもしません。もちろん鳥も来
ません。すると、なんだか川が悲しそうなの
です。わたしにと、ては、泣いているように
思えました。でも、工事をしたおかげで、雨
がふ、てもほとんどにごらず、かもしも雨の日
にもときどき表れるようになりました。見る
のは大変ですけれど、
水は、とても大切な物です。水がなくても
生きられる生き物なんて物はいないでしょう。
今、地球温暖化で地球の温度は暑くなり続

けています。とすると、水は30年後にはとても高価な物になる、ているのかもしれませんが。それをふせぐことができるものは、自然です。木や森は、空気をおたやかな物にすることが出来ます。水は、その自然の要です。水がなくなれば、たった数十日で山一つが干されてしまいます。水は、これからどうにかして守、ていかなければなりません。